

巻頭の ことば

香川大学経済学部長
井原 健雄

香川大学経済学部は、大正12年12月の勅令第501号等により文部省直轄諸学校官制が改正されたことを受けて、高松高等商業学校として創設され、その翌年4月に開校して以来、数えてすでに70年の歳月を経過するに至りました。

本誌は、このような本学部の創立70周年を記念して、本学部関係者の理解と協力により、ここに発刊されるものであります。掲載論説は、「経済編」6編、「経営・会計編」10編、「情報編」2編、「言語・文学編」5編の合計23編となっておりますが、さらに「研究ノート」3編のほか、「調査」、「紹介」、「書評」が、それぞれ1編ずつ掲載されております。

いうまでもなく、大学における教育と研究は、大学人の果たすべき最も重要な機能のひとつであります。したがって、このようなかたちで、現在、本学部に所属する極めて多くの教官たちによって、その研究成果を広く世に問うことができますことは、大学人としての大きな喜びであるとともに、また、大学人としての誇りでもあります。

しかしながら、その喜びと誇りをここに共有するに至るまでには、過酷なまでに厳しい試練と強靱な自助努力が、強く求められていたという事実を指摘しなければなりません。なぜなら、本学部の創立70周年という記念すべきこの時期に、これまでに営々と検討してきた「学部改組計画」について大筋の合意が形成され、しかも、この改組計画の理念に基づいて、新しいカリキュラムの導入や学科別コース制の実施等を含む本格的な大学改革のための取り組みが、不可避となったからであります。しかし、それにも拘らず、それぞれの教官がそのための可及的努力を傾注しながら、さらにその上で貴重な研究時間の捻出

を図り、その成果の一部をここに取り纏めたわけであります。したがって、本誌は、かかる本学部関係者の努力の結晶であり、その誕生の喜びをともに分かち合って頂ければ幸甚です。

平成7年10月26日